

旧道を歩いて（岩古谷山周辺）

はじめに

昭和九年に岩古谷山の麓に堤石トンネルが開通し、岩古谷山で隔てられていた黒倉地区と田口はトンネルで結ばれました。それまでは堤石峠を経由して行き来していたようです。



以前、和市から堤石峠を経由して平山まで旧道を歩く機会がありました。堤石峠から平山までの道は一部不明瞭でしたが、しっかりと残っていたので驚きました。岩古谷山周辺には他にも興味深い旧道があったのでGPSデータを取りながら歩き、地図上に旧道を表してみました（赤線）。

上りも下りも十三曲がり

和市の十三曲がりには東海自然歩道でもあり有名です。

堤石峠に登ると案内板があり、「この峠は田口と黒倉集落を結ぶ唯一の街道で、峠を境に上り下りとも十三曲りの曲がりがあり、古くから十三曲がりと呼ばれていました」とあります。

それを確かめるため堤石峠から黒倉側へ旧道を下りてみました。この道は現在ほとんど利用されていません。

急な斜面を左に右に小さく曲がりながら下りていきます。ちょうど十三曲がったところで道はまっすぐな平坦な道になりました。黒倉側も十三曲がりであることがわかりました。



石仏

平坦な道に石仏があり五十メートルほど東に茶店だったという平らな跡がありました。そこからは平山へ行く道と黒倉に下

りる道に分かれています。

黒倉への道はしっかりとありました。集落に出るところに砂防ダムが造られています。右岸を大きく上って迂回するように登山道が整備されています。そこを下りると旧国道に出ます。黒倉側から岩古谷山へ行く道が確認できました（青線）。



茶店の跡

等高線に沿った旧道

「十二曲がりから入る旧道がある」という地域の方の情報をもとに調べてみました。



旧道

途中倒木があったり流失したりして不明瞭な箇所もありまし



石積み橋台

たが、しばらく歩くと昔の形を残した旧道が現れました。

沢を渡るところに石積み橋台がありました。しっかりと造りから考えると、荷車を通行させていたのかも知れません。

おわりに

使われなくなった旧道は荒れて不明瞭になっていきます。しかし、九十年以上前までは等高線に沿った道が利用され、人や物の流れがあったと思われま。堤石トンネル、さらには八年前の岩古谷トンネルの開通にともない移動する場所が変わりました。今回作成した地図で、その歴史を振り返ることができます。（設楽町文化財保護審議会委員

村岡 周作）